

石島会計メモ

平成28年 6月号



中央区日本橋本石町 4-5-12
友泉本石町ビル 3階
石島公認会計士事務所
(03)3275-1311
発行責任者 石島洋一

シンポジウム成功も さることながら…

所長 石島洋一

☆☆皆が「すごいね」と言ってくれたイベント

前々月号でお知らせしたとおり、私が言いだした経営者シンポジウムが5月15日に母校小田原高校で開催されました。出演者は富士ゼロックス、関電工、ヤマトホールディングス、キリンホールディングスの社長経験者、そのうえ、司会もフジテレビのプロに頼みました。これだけのメンバーだったので、ものすごい前評判でした。地元の地域紙には大々的に取り上げられ、私などは会場に入り切れない人が押しかけたときはどうしようと心配していました。



幸か不幸か、大混乱になるような事態は起こりませんでした。本会場も、本会場以外に設置したプロジェクター席もほぼ満員の盛況ぶりでした。

☆☆感動を呼んだ「仕事と使命感」の話

パネラー四人の方とも一家言ある人ばかり、聞いていて「さすが」と思える内容が多かったのですが、中でも関電工の山口会長の話は迫力がありました。

関電工は、東京電力と関係の深い会社ですから、まずはお詫びから始まりました。そのあと、「震災から5年を過ぎ、もう話しても良いだろう」と意を決したような感じで始めたのが、震災時の社員のとった行動の話でした。

「福島原子力発電所、事故後も冷却せねば大爆発を起こすことになる。冷却のための電気が必要で、東北電力から電力供給を受けることになったが、放射線量の高い中を社員が電線を引く工事をせねばならない。被爆の危険の中を社員は必死で取り組んでくれた…」と当時の話を切々と語りました。

自分の家も被害に遭い、家族が心配の中を、使命感に燃え、懸命に取りくんだ社員に誇りが持てるという内容でした。その真剣な口調が会場にも伝わり、なんとプロジェクター室でも、プロジェクターに向かって拍手が起きたほどでした。

☆☆校長も動かした！！

実は今回の企画、現役高校生にも聞かせたかったのですが、ちょうど中間試験の時期と重なり、その希望は叶えられませんでした。しかし、その後、ある会合で校長先生と出会ったときです。

「石島さん、この前はありがとう。自分も聞いていて、あの話を生徒にも聞かせたいと思った、どうだろうか？」と持ちかけられました。校長の熱意もあって、この話も実現しそうです。パネラーはまたもやボランティア(母校愛?)の講演会。申し訳ない気持ちはありますが、当初の企画をした私たちにはすごく喜びです。

☆☆嬉しかった1通の手紙

後日談でもいろいろ感動を呼ぶ話は多かったのですが、千葉の女性からの一通の手紙も感動でした。あるパネラー宛だったのですが、他のパネラーや同窓会の委員も含め、共有することにしました。内容は次のようでした。



たまたま3月に彼氏と一緒に小田原城に出かけたとき、シンポジウムのポスターを見つけ、「こんなすごい人たちが一堂に集まるなら聞きたいね」となった。ところが、シンポジウムの日にはたまたま彼氏の会社での昇格試験の日。彼は昇格試験の方を選ぶだろうと思っていたが、どうも迷っている様子。

相談を受けた彼女は「ワクワクする方を選んだら」とアドバイス、そしたら彼は会社に話をし、昇格試験を受けずにシンポジウムを選択したとのこと。

私はそんな決断をして、あとで昇格する機会を失っても知らないよ、と思いました(笑)。でも、主催者の立場からは嬉しかったです。

「ワクワクする方を選んだら」と素敵なアドバイスをした彼女、それに応えて主体的に意思決定をした彼氏。この二人の姿を想像していたら、二人に思わず乾杯をしたくなりました。

私は企画者の一人として、御礼の手紙を出すことにしました。皆で彼女の手紙を共有したこと、パネラーも手紙を読んで喜んだ話等々、いろいろ書きました。

それから数日、その彼女から返事が届きました。シンポジウムのあの日も感動したけれど、その後に起きたこと、自分の手紙をあのパネラーの人たちが共有してくれたこと、そして返事をもらったことなど、この一連の流れに驚き、かつ感激もしてくれました。

私は、このやりとりだけでもシンポジウムをやって良かったと思いました。本番のシンポジウムだけでも大きな価値を持っていたのに、その後にも得られた喜び、私の人生の中でも特質すべき楽しく、かつ価値のあるイベントでした。

トラベラーSat o の巣作りのコーナー VOL2

(文章：佐藤篤司)

皆さん、お元気ですか～？(〇)ノ 半年ぶり登場のトラベラーです。いよいよ我が家が完成いたしました～♪ 予告しました通り、満を持して、我が家の紹介(竣工編)をお届けします。思い起こせば、巣作りを決意したのは平成26年7月…。2年越しの悲願達成と20年ぶりの人形町復帰に感無量です(涙)

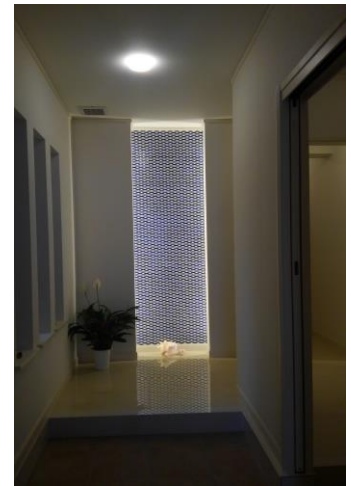
では、いよいよマイホーム公開です。フロア毎にご紹介していきたいと思います。



外観 DAY Ver.



外観 NIGHT Ver.



エントランス

1階右手のドアは賃貸スペースの玄関です。付加した**外柱に照明**を入れてもらいました。仕事で遅くなった日もこの明かりに迎えられると、心が和みます。パーキングスペースを確保するため、大工さんに無理を言って、可能な限り間口を広げて頂きました。そのため建築足場は40センチ程度。大工さんたちの匠に感謝です！！

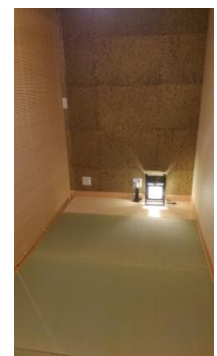
玄関扉を開くとライトアップしたタイルが奥行きを感じさせてくれます。貝などを飾って海をイメージしてみました。1階は狭さと暗さを隠すため、壁・床・天井と白一色です。

また家の顔である玄関をすっきりと見せるため、右手の扉の先に**家族専用玄関**を作り、靴や傘など散らかりやすいものは、そこに詰め込んでいます。

ファミリールーム



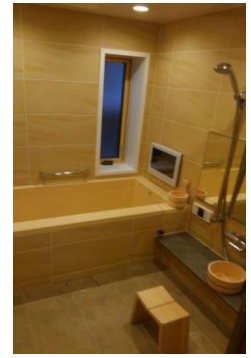
2階は和のフロアです。家族が集うファミリールームに見えている三つのドアは家族各々の居室です。その導線として廊下代わりに部屋を配しています。この部屋と洗面所の**床は竹材**を使用して、素足が気持ち良いのです。簾を下すと畳部分がさらに**小部屋**へと早変わりです。





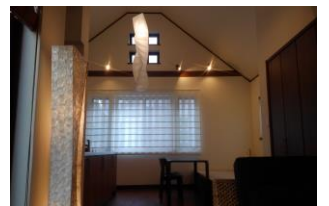
トラベラーの巣は栗色の和紙畳とウッドフロアで大正モダン風に仕上げました。青い天井と赤い壁紙で3丁目の夕日をイメージしています。

浴室はシステムバスにヒノキを収めてもらいました。追い炊きができて、木の香りも楽しめるなど良いところ取りです。但し手入れが大変で、奥さんにも感謝。



さて3階はアジアンフロア！各部屋の日当たり確保の為、フロア中心に南向きのバルコニーを作りました。リビングは天井に半割竹を使い、インドネシア家具で統一、アジア感を強調しています。

ダイニングは5メートルの吹き抜け天井によって、開放感のある空間に仕上がりました。三宅一生作、タツノオトシゴという照明がお気に入りです。右手3畳の小上りは食卓の椅子も兼ねています。



最後にトラベラーイチ押しプレイルームです。卓球・ビリヤード・麻雀・ダーツ・バスケット・ゴルフ等の遊びアイテムが揃い、シーンに合わせて、模様替えが可能です。80年代のソウルやディスコソングをガンガンかけての卓球は今や我が家のルーチンワーク！！

ボルダリングウォールを上った先のロフトは数百冊のコミックが揃うネバーランドです。



プレイルーム



以上、トラベラーSatoの巣作りでした。建築やリニューアルを考えている貴方、是非一度遊びにいらして下さい。この経験を通して解体と建築、境界確定や登記のこと、とても勉強になりました。お役に立てることもあるかと思っておりますので、なんでもご相談くださいね。

ネタ切れのため次回予告はしません。これからゆっくり考えます。(笑) マタネ!(^-^*)/~